

市議会だより



東広島

第151号

(平成23年第3回定例会)
平成23年12月1日発行



西条1号雨水幹線 管きよ内

第3回定例会のあらまし

平成23年第3回定例会は、9月5日から9月20日までの16日間の会期で開催されました。この定例会では、条例案等23件を審議しました。また、9月7日、8日、9日、12日の4日間行った一般質問では、15人の議員が登壇し、執行部の考えを質しました。

一般質問	2
第3回定例会の議決状況	
目 (暴力団排除条例可決!!)	19
次 委員会での審査概要	22
委員会視察	24
市民の声/議会の動き	25
市議会からのご案内/議会豆知識/編集後記 ほか	26

■ 質問一覧（掲載分）

分野	質問項目	質問議員	掲載ページ
行政組織・ 税財政	新庁舎の全面禁煙に対する市の考え方	小川 宏子	10
	市民への行政サービス向上の取り組み	小川 宏子	10
	地域を守る財政運営 ー予算を地域へ投下せよー	宮川 誠子	12
福祉・保健・ 医療	少子化対策における不妊治療助成	牧尾 良二	5
	市民の健康づくり	池田 隆興	7
	児童自立援助ホーム設置の取り組み	小川 宏子	10
	人にやさしいまち (ろうあの方々の環境整備)	西本 博之	11
	子どもの貧困をなくし、 就職援助制度の拡充を	谷 晴美	14
	子宮頸がんワクチンの実態と 検診の重要性	平岡 毅	16
	シルバー人材センターへの支援	石原 賢治	17
	障害福祉計画の進捗状況と課題	石原 賢治	17
	点字ブロックの点検・整備	石原 賢治	17
環境・衛生	地域新エネルギー及びエコタウン事業	高橋 典弘	4
	ゴミ・し尿処理システムの 限界とあした	大谷 忠幸	8
	老朽化の進む住宅団地の大型浄化槽	麻生 豊	9
	ごみ及び資源ごみの 分別・回収及び弱者対策は	家森 建昭	13
	小型家電の収集の対応はどのように	家森 建昭	13
	東広島市も優先的に 自然エネルギー導入を！	谷 晴美	14
産業・観光・ 雇用	東広島市の観光振興推進	牧尾 良二	5
	酒蔵地区の景観保全に就いて	大江 弘康	15
	23年度米に対する市としての 新たな対応は？	早志 美男	18

一般質問

平成23年第3回定例会

議員は、定例会で、市政全般について執行部に年3回質問することができます。
平成23年第3回（9月）定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。
ここでは、質問と答弁の要約を掲載しております。全文（会議録）は、市ホームページ、
または、議会事務局や市立図書館などでご覧いただけます。

■質問一覧（掲載分）

分野	質問項目	質問議員	掲載ページ
都市づくり	県道瀬野川福富本郷線、志和インター線の整備	牧尾 良二	5
	都市計画事業の推進	池田 隆興	7
	公共工事をぶったぎる2	大谷 忠幸	8
	どうする主要幹線道路等のアクセス整備	西本 博之	11
	寺家地区の幹線道路と雨水排水の対策	大江 弘康	15
	八本松駅南土地地区画整理事業の進捗状況を問う	大江 弘康	15
	東広島向原線の今後の計画は？	早志 美男	18
教育・生涯学習・ 人権	これでも建 ^つ くるのか市民ホール！	大谷 忠幸	8
	人を育てる教育を！一心の芯を育てるー	宮川 誠子	12
	保小中高一貫教育のモデル事業の考えは	家森 建昭	13
	公共の精神を深める歴史公民教科書採択へ	平岡 毅	16
防災・安全	防災計画における避難所	池田 隆興	7
	安全・安心な暮らし（防犯活動について）	西本 博之	11
広報公聴・ 交流その他	シティプロモーションの具体的戦術	高橋 典弘	4
	真の市民協働社会を確立するには丁寧な対応を	高橋 典弘	4
	西高屋地区市民センターの整備	上田 廣	6
	住民自治協議会の設置	麻生 豊	9
	地域主権改革は住民のサービス向上のために	谷 晴美	14



質問者…高橋典弘（合志会）

シティプロモーションの 具体的戦術について

【質問】

①函館市では「Hako Tube」というサイトを開設し、動画によるプロモーションを実施している。このように費用をかけず知恵を出し、市民と協働して柔軟かつ大胆に東広島市を発信する具体的戦術を打つべきではないか。

②現在実施しているシティプロモーションの事業内容と進捗状況を問う。

【答弁】 市長

①テレビや新聞中心の情報発信に加え、ブログやツイッター、「You Tube」等を活用し、より情報が広がるような戦術を検討していきたい。②本市の認知度向上につながる事業を公募し補助するほか、観光や企業誘致用に作成



はこだてCM放送局～Hako Tube～

【質問】

市民協働社会の確立とは、最初に住民自治協議会ありきではなく、心豊かに過ごせる地域づくりのため、公平・堅

真の市民協働社会を 確立するには

丁寧な対応を

したDVDをイベントなどで活用したい。また、PR大使の委嘱なども行っており、今後、情報誌の発刊やPRイベント等を予定している。

たか

はし

のり

ひろ

（合志会）

実な地域での協議のもと、各団体の融合または協働により主体性を確立することであると考える。地域住民・各種団体の合意を得られないままの協議会設立は、逆に地域のつながりを失いかねない。もう一度原点から学習し、行動計画に当たるべきではないか。

【答弁】 企画振興部長

現在、各地域において、体制、基盤づくりを進めていただいているが、当然さまざま問題点も生じている。地域特性を踏まえながら、地域の方々との双方間の関係を大切にしつつ、地域づくりを推進していく。

地域新エネルギー及び エコタウン事業

について

【質問】

①地域新エネルギーについて、本市のポテンシャルを生かす具体的戦術を問う。②ゼロエミッション構想推進のため、エコタウン事業の認定を早急に受けるべきと考

ゼロエミッションとは

国連大学が、1994年に提唱した考え方で、人間の活動から発生する廃棄物を限りなくゼロにすることを目指しながら最大限の資源活用を図り、持続可能な経済活動や生産活動を展開する理念と手法である。

（国連大学協会 HP より）

えるが、これまでの検証・対応の状況を問う。

【答弁】 副市長・生活環境部長

①地域新エネルギービジョンを踏まえ、短期的な取り組みとして有利と思われる太陽光発電、太陽熱利用、バイオマスエネルギーを中心に推進しており、太陽光発電は今後積極的に支援したい。

②既に取り組んでいる他の自治体では、原料となる廃棄物の安定供給が困難、処理費が高額等の課題を抱えている。エコタウン事業の活用は、相当の行政関与が必要であり、企業誘致に業種の制約がかかる面からも、現時点では困難である。



質問者…牧尾良二（威信会）

東広島市の 観光振興推進 について

【質問】

①現在策定中の本市の環境管理計画の内容と進捗状況、酒蔵地区における地下水位等の観測結果を問う。

②本市伝統産業の酒造りを守るための地下水保全条例等の制定について、所見を問う。

③今年度から整備に取りかかった酒蔵通りのくぐり門の活用について問う。

【答弁】 市長・副市長

①策定中の計画では、従前の計画にあった地下水の保全に係る事項を発展、継承するよう考えている。地下水位の経年変化は見られないが、地下涵養量は減少傾向にある。

②一部の事業者や特定の利用に對してのみ条例で規制するのは困難で、現段階での条



酒蔵通り「くぐり門」

例化は大変厳しいと考える。

③酒蔵通り全体のにぎわい創出の拠点となるよう、施設整備に支援しており、多くの観光客が立ち寄り、利用できる施設として活用したい。

県道瀬野川福富本郷線、 志和インター線の の整備

【質問】

①本市から広島市にかけての国道2号の渋滞の解消には、県道瀬野川福富本郷線の

広島市部分の早急な道路改良が肝要であるが、所見を問う。
②県道志和インター線の渋滞解消に対する考えを問う。

【答弁】 副市長

①広島市に早期整備を要望しているが、国道2号バイパス関連のアクセス道路等を優先的に整備しているため、全線整備までには相当の年数がかかるかと聞いている。

②県が志和インター入口北交差点の一部改良や信号サイクルの調整等を行ったが、引き続き当該交差点の抜本的改善に向け、強く要望したい。

少子化対策における 不妊治療助成 について

【質問】

①本市の少子化対策の具体的施策と成果を問う。

②不妊治療に対する助成制度と、不妊治療に保険が適用されない理由を問う。

③地域周産期母子医療センターの進捗状況を問う。

●その他の質問項目Ⅱ 不法係留調査、送迎バス契約



地域周産期母子医療センターの入る東広島医療センター

【答弁】 福祉部長

①妊婦健康診査の公費助成や乳児家庭の全戸訪問、地域子育て支援センターの運営等により、市民満足度調査での子育て支援施策の充実の項目は、昨年度は重要度、満足度とも高い評価を得ている。

②県の事業として、治療1回につき15万円を上限に5年間で10回まで助成される制度がある。国の見解では、不妊治療の有効性が確立されておらず、保険適用対象とするのは困難とされている。

③診療開始日程は検討中であるが、ほぼ予定どおり工事が進んでいる。



質問者…上田 廣 (新風21)

西高屋地区 市民センターの 整備について

【質問】

高屋西地域センターは、築40年余りで、施設規模も人口増加に対応できておらず、老朽化も進みニーズに応えられなくなっている。そこで、児童青少年センター機能を備えた西高屋地区市民センターを整備すべきだと考えている。

西高屋地区は、高等学校・中学校が集積し、学園都市にふさわしい文教地区へと変ぼうを遂げている。第2次東広島市都市計画マスタープランにも、教育機能の集積する文教地区にふさわしい健全な市街地の形成とうたっている。

平成15年には、青少年健全育成推進協議会で児童センター設置が要望され、一般質問でも取り上げられたが、一



高屋西地域センター

向に調査もない。昨年同地区の議員が要望し、更には西高屋地区周辺の区長が要望すること、ようやく回答を得た。

その内容は、それぞれの目的ごとに施設を整備するのではなく、可能な限り機能の複合化を図り、費用対効果を踏まえ、行政による整備だけでなく、民間の遊休資産等の活用も含め、現状と課題を検討することだった。その後の進捗状況を問う。

【答弁】市長

西高屋地区の拠点となる施設の整備は、賀茂学園都市建

設基本計画に基づく各種事業の展開により、住環境及び教育環境ともに進んでいる。

一方、JR西高屋駅前の機能強化や駅周辺の計画的な市街地の形成を進める中で、青少年の居場所づくり、生涯学習機能の充実等の課題も生じている。よって、青少年の居場所づくりとして施設を整備するため、市の施設の改修あるいは公共施設・民間施設の利用を検討したが、結論まで至っていない。

こうした状況の中、西高屋地区の様々なニーズに対応できる新しいタイプの拠点施設とも言える市民センター整備の要望書が提出された。この要望に対して、平成19年3月に策定した青少年自立プランに、西高屋地区に第2児童青少年センター開設を位置づけていること、現在の高屋西地域センターのリニューアルを含めた何らかの対応策が必要になってくることから、質問に示されたとおり回答した。

その後、地域のまちづくりにとつて望ましい形態を判断するために、高屋西地域セン



JR西高屋駅前

ターの利用者にアンケートを実施したところ、ホールが狭小であり生涯学習活動が満足に実施できないなどの意見が出された。また、非行少年がグループをつくり、暴走行為・い集行為など、青少年の健全育成の観点で憂慮すべき状況がある。現在、地域が主体となって青少年への声かけ、見守り活動が行われている。これらの状況を踏まえ、児童青少年センター機能の配置などについても青少年問題協議会と連携している。

今後も引き続き様々な角度から総合的に検討を行いながら、早期に結論を出していきたいと考えている。



質問者…池田隆興（合志会）

市民の

健康づくり

について

【質問】

①市民の健康問題に関する認識と今後の取り組みについて問う。

②ウォーキング運動の推進と、健康づくり基本条例の制定についての考えを問う。

【答弁】市長

①日頃からの健康の意識や健康づくりの実践、健康支援の環境づくりが大切と考え、今年1月に健康増進計画を策定し、平成25年度に目標値を設定して取り組んでいる。

②日頃からできることから健康増進に取り組むことの重要性を市民に強くアピールする必要があり、条例制定の是非も含めて先進自治体の取り組み等を参考にしながら、効果的かつ継続的な手法を検討

したい。

都市計画事業の

推進について

【質問】

①市道乃美尾兼広線の終点である乃美尾地区でも計画路線を確定させ、より現実化するのを市民に周知すべきと考えるが、進捗状況を問う。

②榎原地区から黒瀬支所、市ノ堂地区への下水道延伸計



東広島市健康増進計画「いきいきヘルスプラン」

画の工程と課題を問う。また、市ノ堂地区への管路ルートを国道375号以外の路線で検討できないか問う。

【答弁】建設部長・下水道部長

①鷹原交差点から東側へ約1km区間の整備を行っており、進捗率は44%である。現在の事業ベースで事業を行うと、当該区間の完成は平成20年代後半になると考える。

②榎原地区から黒瀬支所へのルートは、当面は黒瀬中央公園までの区間を来年度以降に工事着手する計画である。課題としては、国道375号の交通量の多さが挙げられ、東広島呉自動車道黒瀬ICから馬木IC間の開通後の交通状況を見きわめながら検討し、下水道整備を行いたい。

防災計画における 避難所について

【質問】

①避難所の見直しや新設についての考えと、避難所の設定条件を問う。



見直すこととされている地域防災計画

②避難所の開設を周知するための屋外回転灯等の設置が必要と考えるが、所見を問う。

【答弁】総務部長

①さきの東日本大震災を踏まえ、地域防災計画を見直すこととしていることから、避難所についても検討を行いたい。避難所選定の考え方としては、災害時においても避難所や避難経路周辺においてがけ崩れや浸水、火災、工場の爆発などの危険がなく、住民の安全が保てる場所であることが必要条件である。

②屋外回転灯の設置は、目印として効果的なものと思われ、地域防災計画の見直しの中で検討していきたい。



質問者…大谷忠幸（東島いづほ会）

ゴミ・し尿 処理システムの 限界とあした

【質問】

①現在の最終処分場が満杯になる前に、焼却残さの少ない新施設の建設に着手すべきと考えるが、所見を問う。
②新施設をシャフト炉式にすれば、焼却後の残さが少なく、試算では建設費用も安価になるが、新施設のシステム



賀茂環境センター（最終処分場）

構成を問う。

【答弁】市長

①新施設の建設には、建設候補地の決定や現地調査、設計、建設工事等の期間を合わせると最低でも9年程度必要と考えており、計画目標としている平成32年度の供用開始を早めることは難しい。

②最終処分場を必要としないガス化溶融炉で、施設規模は日量300tとしているが、今後のごみ減量化状況を踏まえ、発注仕様書の策定段階までに最終決定するための検討がされている。また、し尿処理施設についても、最終処分物が発生しないようなシステムが計画されている。

それでも 建てるのか 市民ホール！

【質問】

①現在の建設予定地に市民ホールを建設すると、中途半

端な施設になるため、建設するのであれば別の場所を選ぶべきと考えるが、所見を問う。

②本年度の地方交付税は、東日本大震災の復興のため交付額が減額されると聞くが、その詳細を問う。

【答弁】副市長・理事

①基本計画策定の過程で、市民検討委員会や計画策定委員会等においてどの程度の施設配置が可能か協議、検討を経て決定しているため、建設規模は妥当であると考えている。

②普通交付税とその振替財源となる臨時財政対策債を合わせると、当初予算に対して約10億円の増で、前年度並みを確保できる見込みである。



広島大学内にあるサタケメモリアルホール

公共工事を ぶったぎる？

【質問】

①総合評価落札方式一般競争入札において、担当者の判定が大きく左右する工事成績の評定に当たっては、全事例の中から数%を任意抽出し、外部機関がチェックすべきと考えるが、所見を問う。

②入札における最低制限価格は、誰がどのように決めて管理しているのか問う。

【答弁】総務部長

①外部チェック機能については現在検討中であるが、委託費用も必要となるため、費用対効果を考慮しながら効果的な手法を検討している。

②規定に基づく決裁者が決定する最低制限基準価格に、コンピュータの乱数機能を用いて0から0.5%の範囲で開札直前に自動調整した額を加えて決定する。なお、最低制限基準価格は、所管部局で厳重に管理している。



質問者…麻生 豊 (威信会)

老朽化の進む 住宅団地の 大型浄化槽

【質問】

①市街化調整区域の団地では、公共下水道の整備が期待できず、大型浄化槽の維持修繕等に対する助成等の法的根拠もないため、浄化槽の維持管理は、すべて団地住民の手に委ねられている。しかし、団地住民は、不測の事態が生じた場合、市が何らかの救済措置を講じてくれるものと信じているが、市は市民とどのように向き合うのか問う。

②市街化調整区域内の団地の污水处理施設の老朽度、管理運営の実態等をどのように把握しているのか問う。

③大型浄化槽の修繕等に対する救済策や補助制度の検討が必要と考えるが、今後の見通しを問う。

【答弁】生活環境部長

①市街化区域以外の住宅団地の住民に、公共下水道に接続されるとの期待があるとしたら、団地での今後の維持管理計画等に支障を来すため、污水处理に関する制度を正しく認識していただくよう浄化槽管理者に周知を図りたい。

②公共下水道整備区域外で大型浄化槽を設置している住宅団地は48程度あり、設置後20年を経過しているものは28基程度と推測している。

③すべての該当する団地にアンケート調査し、課題があ



大型浄化槽

住民自治協議会の 設置

【質問】

①住民自治協議会に求められる最低限の役割を問う。

②旧公民館であった地域センターが住民自治協議会の活動拠点となるが、黒瀬町には公民館がなく、地域集会所を活動拠点とするよう指導されている。地域集会所の位置づけなどの一定の配慮や、公平にならないような旧公民館運営との格差是正も必要と考えるが、所見を問う。

【答弁】市長

①最低限の役割を市として設定することは適当とは考えていない。地域の自治を統括する協議会であるという趣旨を踏まえると、おのずとこれまで行政区長に担っていただ

れば、対応策について一緒に検討を進めたい。しかし、国県の財政的支援がない現時点では、本市独自の制度を設けるのは、困難である。

いている業務の多くの部分を住民自治協議会が担当することとは、基本的な役割になるものと考ええる。

②地区公民館のなかった地域の活動拠点については、既存公共施設や地域集会所等の有効活用を視野に入れながら、その確保に努めているが、これらの施設には協議会の事務局機能を担う職員が配置されず、施設使用料が発生するなどの課題もある。このため、地域センターのない地域に対しては、地域づくり推進交付金に専任の事務職員を配置する経費の加算や、既存施設の一部増築などについて、さまざまな観点から検討している。



黒瀬町の南方会館



質問者：小川宏子（公明党）

児童自立援助ホーム 設置の 取り組みについて

【質問】

児童自立援助ホームの設置に向けた支援体制づくりと、県との連携について、所見を問う。

【答弁】 福祉部長

昨年3月策定の広島県次世代育成支援行動計画「みんな育てることも夢プラン」では、県内3か所の整備を目標としている。

本市が県から権限移譲を受けている児童自立生活援助事業の開始の届け出等について相談があった場合は、厚生労働省令に即して助言や指導を行うとともに、適宜、県との連携を図る。また、事業開始後も本市が行う指導監督の状況を県に通知し、十分な連携を図っていく。



広島県次世代育成支援行動計画「みんな育てることも夢プラン」

新庁舎の 全面禁煙に対する 市の考え方について

【質問】

①受動喫煙やがんの未然防止に向けた、青年の防煙意識促進の取り組みを問う。

②先般、医師会が要望した新庁舎の全面禁煙について、市の考えを問う。

【答弁】 市長

①世界禁煙デー街頭活動や広報等による普及啓発、禁煙

支援等を行っており、引き続き、関係機関と連携しながら、生涯を通じた禁煙支援や受動喫煙防止に向けた取り組みの充実に努めたい。

②新庁舎の喫煙室に係る事業費は、5か所設置した場合で約550万円必要である。

市庁舎は、多数の市民が利用する公共施設として全面禁煙にすることが望ましいことや、県内市町の施設の禁煙状況調査結果を踏まえ、議会フロアを除いて喫煙室の設置を取りやめる方向に進めたい。

市民への 行政サービス向上の 取り組みについて

【質問】

①新庁舎建設によって庁舎敷地が窮屈な現状においても、本館東側に設置している身体障害者用駐車場の場所が分かるよう、看板を設置すべきと考えるが、所見を問う。

②本市では、精神疾患を有する職員があまり減っていないようであるが、コストや人



市役所北館プールバル側設置された看板

員を削減する中で市民サービスが低下しないよう、ソフト面での工夫を行う必要があるが、その取り組みを問う。

【答弁】 総務部長

①臨時駐車場の出入口と本庁舎東側の出入口に身体障害者専用駐車場の案内表示板を設置する。また、北館の入り口についても、分かりやすい案内表示板を設置する。

②職員の能力向上を図るため、所属や係内の研修等の充実、業務ごとのマニュアル作成等により、情報の共有化や職員のコミュニケーションの活性化を行い、担当でない職員でも対応可能な体制整備等に努めていきたい。



質問者：西本博之（市民クラブ）

人にやさしいまち （ろうあの方々の 環境整備）

【質問】

①ろうあの方々の暮らしの改善の取り組みを問う。
②公を含めて諸団体の大会等において、費用負担なしに当たり前に手話通訳者を配置する考えはないか問う。

【答弁】 学校教育部長・福祉部長

①聴覚障害者用日常生活用具の給付や手話奉仕員の養成等を行うとともに、学校では、国語等の授業で、誰もが生活しやすい社会について考えを深める学習を行っている。
②社会福祉協議会に委託している手話奉仕員派遣事業を使われる場合は、利用者の費用負担はない。課題もあるが、市の各部署が計画する講演会等に可能な限り手話通訳者を配置していきたい。



広島空港最寄の JR 白市駅

どうする 主要幹線道路等の アクセス整備

【質問】

①白市駅から広島空港間のアクセス整備の重要性や必要性についての認識を問う。

②東広島駅や西条駅、広島大学等の主要拠点と広島空港を結ぶ幹線網整備について、本市の将来像と計画を問う。

【答弁】 市長・副市長

①軌道系アクセスの整備に

安全・安心な暮らし （防犯活動について）

【質問】

①市内の刑法犯罪等の発生数と治安の現状分析を問う。

②防犯推進事業、防犯意識高揚の推進状況を問う。

③白市駅や東広島駅への交番設置に対する考えと、警察官の増員や機能強化に係る県への働きかけの現状を問う。

【答弁】 総務部長

①刑法犯認知件数は、昨年が1706件、今年7月末現在で948件である。これ

まで減少傾向にあったが昨年は増加に転じ、危惧している。

②防犯連合会等の活動支援を通じて青色防犯パトロール隊や地域防犯ボランティア等の育成を支援している。刑法犯認知件数が平成15年のピーク時から半減したことからも、長期的には一定の効果があつたと考えるが、市民協働による取り組みを全市域に拡大したい。

③白市駅周辺を管轄する西高屋交番の人口千人当たりの犯罪件数は、市内の他の交番や駐在所と比較しても低く、東広島警察署からも、現状で交番の新設等は困難な状況である旨の回答を得ている。



西高屋交番



質問者…宮川 誠子 (新風21)

地域を守る財政運営

―予算を地域へ― 投下せよ―

【質問】

地域が疲弊している原因の一つは、下手な財政規律だと考える。公平公正の名の下に競争入札し、落札率は低下し、一見、無駄遣いは少なくなつたが、大規模事業のほとんどは大企業が請け負い、東京一人勝ちを助長している。地域を疲弊させてまで守らなければならぬ正義とは何か。納税してくれる地元企業に資金を投下し、地域経済が活性化し、結果的に自治体財政も健全化させることが、一番有効で無駄のない税金の使い方である。一向に効果のない地域活性化策より、地域活性化という視点で入札制度や備品購入などの制度を作り直す必要があると考えるが、どうか。

【答弁】市長

地域経済は厳しい環境下にあり、地元業者の経営や雇用の確保等の観点から、課題が多いと認識している。市内各町の地域内の買い物率の平均は30%余で、地元での買い物意欲低下が懸念される。この状況を踏まえ、市内業者の受注機会拡大を図っている。その結果、平成22年度の公共工事の地元業者への発注率は、件数ベースで93%余である。一方、金額ベースでは全体額129億円余のうち48%余で、JVで行っている事業を

JVとは

ジョイント・ベンチャー (Joint Venture) の略。

東広島市では、大規模かつ技術難度が高い建設工事に限り、その建設工事の請負を目的として複数の建設業者により結成される「特定JV」の入札参加を認めている。

差し引くと82%余である。今後、地元業者の育成に配慮し、長期的で継続的な地域購買力の下支えとしての役割を果たすべきだと考えている。

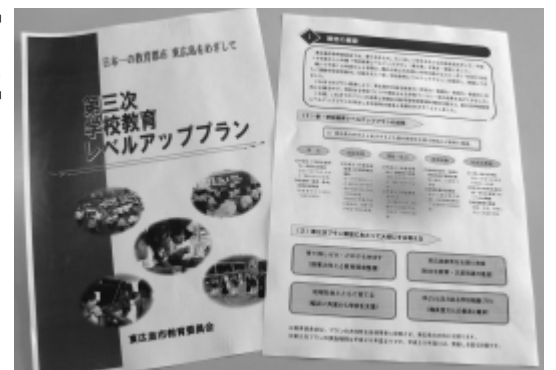
人を育てる教育を！ ―心の芯を育てる―

【質問】

秋田県は、学力、文化、スポーツ面でも全国トップクラスの成績を誇っているが、会派視察で訪れた秋田県大仙市の教育長は、「心も体も育てなければ学力は身につかない。心の芯を育てるためには、芸術や本物に触れることが大切だ。」と言っていた。日本の教育は、学力・学歴偏重に走り過ぎ、基本的な生活態度が疎かになっている。人を育てることの基本は、学力以前に、困難を自力で乗り越え、勇気を持ってチャレンジできる人間を育てることだ。本市の教育方針として、子どもたちの心の芯を育てることに主眼を置くべきだと思うが、どうか。

【答弁】教育長

昨今、直面する課題を自力で解決しようとする粘り強さやチャレンジ精神に欠ける状況も伺える。これは、いじめ、不登校等の要因の一つでもあり、大きな教育課題である。本市では第3次学校教育レベルアッププランの中で、不易の教育に重点を置き取り組んでいる。一校一和文化学習、東広島スタンダード、職場体験や大学・研究機関での最先端研究に触れる機会を設ける等の取り組みを通して、自力で切り開いていく力を蓄えていると考えている。今度も様々な取り組み、学校への支援の充実を図りたい。



第三次学校教育レベルアッププラン



質問者…**森建昭**（合志会）

ごみ及び資源ごみの 分別・回収及び 弱者対策は

【質問】

ごみの収集実態と、今後の分別の取り組みを問う。また、汚れたペットボトルやリサイクルプラはリサイクルできないことを市民に理解していただかなければ、リサイクルが進まないと考えるが、市民の思いと実態の乖離をどう考え



賀茂環境センター(リサイクルプラの選別作業現場)

ているのか問う。

【答弁】副市長

安芸津町は3種類、その他の地域は6種類のごみを手や機械で選別して資源化を行っており、分別の徹底を図るとともに正しい分別等を説明したごみブックを配布し、市民の協力をお願いしたい。

小型家電の 収集の対応は どのよう

【質問】

①家電に含まれるレアアースを収集の際に回収している自治体の取り組みは、採算ベースに乗るとの推測があるが、本市の対応を問う。

②高齢化等により、粗大ごみなどの搬出が困難となっている市民に対するごみの収集について、所見を問う。

【答弁】副市長

①貴金属やレアメタルの再利用を目的に、来年の通常国

会に制度創設の法案を提出予定である小型電気電子機器リサイクル制度が施行されれば、積極的に取り組みたい。

②高齢者の方々が回収場所までごみを持って行けないので、対応を検討してほしいとの要望が寄せられており、今後、高齢者、障害者の方々等に対する負担の軽減が図れるよう、検討していきたい。

保小中高一貫教育の モデル事業の考えは

【質問】

①高美が丘小・中学校の一貫教育の計画の内容と、計画の進め方を問う。

②高美が丘での成果を他の学校でどのように反映させるのか問う。

③豊栄小学校と豊栄中学校を一貫校に指定すれば、保育所や賀茂北高校も含め、保小・中・高の一貫教育ができるかと考えるが、所見を問う。

【答弁】教育長

①小学校高学年での一部教



豊栄中学校

科担任制による授業や小学生が中学校の授業を体験する体験入学の実施など、実態に応じた取り組みを考えている。

②本市が目指す小中一貫教育は、小・中の接続の円滑化であり、一律の取り組みは難しいが、全小・中学校に小中一貫接続教育の導入を推進する中で各校の条件を考慮し、地域の実態に応じた取り組みの調査研究を進めたい。

③豊栄町で平成16年度から推進している連携型中高一貫教育の取り組みは、本市の地域実情を踏まえた特色ある学校づくりを進める小中一貫教育にも、つながっているものと思っている。



質問者…谷 晴美 (日本共産党)

東広島市も優先的に 自然エネルギー 導入を！

【質問】

①他の自治体で取り組んでいる太陽光や小水力、木質バイオマスでの発電など、本市における自然エネルギー政策の今後の対応を問う。

②環境審議会が答申したごみの有料化は、もっといろいろな観点から検討すべきと考える。また、環境審議会は、少なくとも半数は公募による委員で構成すべきと考えるが、市の所見を問う。

【答弁】生活環境部長

①当面は太陽光等が中心になると思うが、多くの先進事例を調査研究する中で、事業化が可能なものは具体的に検討していきたい。

②ごみの種類、有料化方式、ごみ袋の価格等の基本的事項



園芸センターの太陽光パネル

の実施方法を十分検討するとともに、処理についても、減量化や分別種類の検討等の課題を整理し、総合的な観点から検討したい。環境審議会の公募委員の割合は、審議内容に応じて必要な委員構成となるよう、その都度検討したい。

地域主権改革は 住民のサービス 向上のために

【質問】

国の地域主権改革により、

これまで国が定めていた基準が地方自治体の条例に委任されるが、委任によって基準の引き下げも懸念される。そこで、委任による諸基準の条例化についての認識と、本市の今後の対応を問う。

【答弁】副市長

この改革によって、地域主権の確立に向けて、地域の自主性と自立性が大きく高まるものと考ええる。本市では、介護保険法や公営住宅法、道路法等に定める施設の設定、管理、運用基準が関係し、現在、条例制定等に向けて準備作業を進めているが、本市に關係する政令、省令が示されていないことから、詳細の基準設定を検討するまでには至っていない。

子どもの貧困をなくし、 就職援助制度の拡充を

【質問】

日本の相対的貧困率は先進国で最悪水準の16%で、本市でも就学援助の受給者は年々

貧困率とは

貧困率には、絶対的貧困率と相対的貧困率がある。絶対的貧困率は、十分な所得がないため最低限の生活必需品を購入できない人の割合。相対的貧困率は、国民所得分布の中央値の半分に満たない世帯の割合。

(大辞泉より)

増え続けているが、本市の就学援助制度の現状と今後の対応を問う。

【答弁】学校教育部長

学用品費や校外活動費、通学費、修学旅行費等の8費目について援助を行っており、平成21年度からは、認定基準の一つである所得要件を生活保護基準の1.3倍に改めて認定の可否を決定している。なお、援助対象外となっている柔道着などの体育実技用具費等については、来年度から中学校の新学習指導要領の完全実施に伴い、武道が必修となる状況を踏まえ、就学援助の費目に加えることは今後検討したい。



質問者…
おお 大 江 弘 康
ひろ やす
(威信会)

酒蔵地区の 景観保全に就いて

【質問】

① 観光資源や中心市街地の産業振興の観点など、さまざまな角度から検討されている酒蔵地区の景観保全は、どのような方法で行うのか問う。

② 酒蔵通り（都市計画道路西条本通線）を拡幅する計画は、景観保全の観点からは矛盾すると思うが、拡幅計画を今後も維持したままで酒蔵通りを考えているのか問う。

【答弁】 市長・都市部長

① 現在、酒蔵通り活性化調査業務を行うとともに、今年度から2年間で酒蔵地区を中心とした市街地の整備、改善やにぎわい創出のための取り組み、中心市街地活性化基本計画を策定する予定である。

② 計画幅員12mで整備した



酒蔵通り

場合、酒蔵地区の景観に寄与している既存の酒蔵等に及ぼす影響が大きいため、地元の合意形成を図った上で都市計画道路を廃止する方向で検討し、美装化を進めたい。

寺家地区の 幹線道路と雨水排水の 対策について

【質問】

① 下寺家地区を東西に通る抜ける都市計画道路の概要を問う。また、同地区には南北

に通り抜ける幹線道路も必要と考えるが、所見を問う。

② 農地の減少や近年のゲリラ豪雨を考えると、計画的な排水手法の構築と将来を見据えた検討が必要と考えるが、所見を問う。また、黒瀬川のしゅんせつの計画を問う。

【答弁】 副市長

① 国道486号の渋滞緩和対策として、都市計画道路西条中央巡回線を西側方面に延伸し、寺家新駅周辺地区を結ぶ都市計画道路寺家中央線を計画し、現在、都市計画決定の手続を行っている。また、南北方向の道路については、市道本町上寺家線との交差点から蓮花寺橋までの未整備区間について、広島県に対して早期整備の要望を行っている。

② 今年度は、既設排水路の能力評価や浸水対策効果を検証しており、これらの検証結果を基に浸水改善基本計画を策定し、早期に浸水解消を図れるよう努力したい。また、黒瀬川のしゅんせつについては、西条橋上下流と江熊橋上下流、蓮花寺橋から大門橋上

流までを県に要望している。

八本松駅南 土地区画整理事業の 進捗状況を問う

【質問】

八本松駅南区画整理事業の今後の予定を問う。

【答弁】 都市部長

仮換地の仮割り込み調査の結果を基に、昨年、権利者の仮割り込みに対する意向調査を行ったが、換地位置の変更等の意見が出されたため、見直し作業を行い、この見直し案により2回目の個別説明会を実施し、説明を行っている。



寺家新駅周辺整備の様子



質問者…平岡 毅
ひらおか つよし
 (東広島市議会)

公共の精神を深める 歴史公民教科書 採択へ

採択へ

【質問】

① 関東地方を中心に新しい公民教科書を採択する自治体が増えているが、全国や広島県内の状況を問う。

② 本市での歴史、公民教科書の採択に係る検討の経緯と、新しい歴史、公民教科書についての所見を問う。

【答弁】 教育長

① 市教育委員会の調べでは、新しい公民教科書は全国の約5%で採択され、広島県内では呉市と尾道市で採択されている。

② 本市での教科書採択に当たっては、選定委員会が審議決定した教科書を調査研究する観点に基づき、調査委員会が調査研究を行うとともに、市内6か所で教科書見本の展



歴史・公民の教科書

示を行って市民から意見をいただいている。歴史、公民教科書についても、他の教科と同様、これらの調査研究報告や選定委員会の審議結果、市民からの意見を基に、教育委員会が審議を重ねた上で、採択を行った。

特に、歴史、公民分野の教科書はそれぞれ特色があるが、すべての教科書が学習指導要領にのっとり教科書検定に合格したものと認識に立って採択しており、目標達成のために学習指導が揺らぐものではなく、今回の教

科書採択についても、適正かつ公正な事務に努めた。

子宮頸がん ワクチンの実態と 検診の重要性

【質問】

① 子宮頸がん予防ワクチンの接種は、そのメリットが強調され、接種ありきで推奨しているようであるが、接種によるデメリットについても説明した上で、公平な観点で接種判断ができるようにすべきと考えるが、所見を問う。

② 子宮頸がんは、定期健診でほぼ確実に発見でき、初期であれば簡単な患部除去手術で完治できるため、ワクチン接種よりも定期健診に力を入れるべきと考えるが、所見を問う。

【答弁】 福祉部長

① ワクチン接種を行う際は、あらかじめ医療機関において、この予防接種は任意であり義務ではないことや、病気の内容と予防接種の効果や目的、接種後の副反応等を記

載した説明書と予診票を配り、接種前に、医師が効果や副反応等の説明を行った上で、予防接種の実施に同意することを保護者が自署した予診票によって確認できた場合に限り、接種を行っている。

② 平成21年度から女性特有のがん検診推進事業を始めたが、昨年度の本市の子宮頸がん検診受診率は26・1%で、まだかなり低い状況である。本年度は、受診率向上を図るため、女性の検診スタッフによるレディース検診日を設けており、今後とも引き続き子宮頸がん検診の普及啓発を行うとともに、受診率を上げる工夫をしたい。





質問者：石原賢治（市民クラブ）

シルバー 人材センターへの 支援について

【質問】

① シルバー人材センターの役割に対する評価と、今後の支援方針を問う。

② シルバー人材センター本所と地域協働のまちづくり拠点施設の2つの拠点が、八本松地域センターは、狭い施設利用にも苦情が出ていると聞くが、解決策を問う。

【答弁】 市長

① 社会参加が健康づくりや将来的な介護予防につながっていると考える。高齢者福祉計画における就労支援の柱と位置づけ、法の趣旨に基づき育成支援を行っており、引き続き支援を継続したい。

② シルバー人材センター拠点の移転配置を中心に検討したいと考えており、吉土実保



八本松地域センター

育所跡地が有力な移転候補地と考えている。

障害福祉計画の 進捗状況と 課題について

【質問】

① 障害者計画と障害者福祉計画で数値目標を設定している福祉施設入所者や入院中の精神障がい者の地域生活への移行、福祉施設から一般就労への移行について、現時点の達成状況を問う。

② 知的障がい者、精神障がい者の雇用や物品の発注、新庁舎の売店等の検討について、市の対応を問う。

【答弁】 副市長・福祉部長

① 3項目のうち、今年8月末時点で達成しているのは福祉施設入所者の地域生活移行のみであるが、福祉施設から一般就労への移行についても今年度末には目標を達成できる見込みである。計画の重点施策であるライフステージ移行支援、就労社会参加支援、住まいの支援、権利擁護について、地域のネットワークづくり等に取り組んだ結果、障がい者を地域で支える体制が整ってきたと考えている。



施設敷地内と連結している点字ブロック

点字ブロックの 点検・整備について

【質問】

点字ブロックの点検結果と、整備や修繕の内容を問う。

【答弁】 建設部長

発見された点字ブロックのはがれや歩道内の小規模な段差のうち緊急性の高い2か所を修繕し、はがれ等で連続性に欠ける箇所が多い市道土与丸御園宇線では、修繕の準備をしている。当面、新たな歩道の整備、改築を行う場合は、その都度、近隣の病院や福祉施設等と施設内整備に係る協議を行い、法の基準に適合するよう連携を密にしたい。



質問者：早志美男（合志会）

東広島向原線の今後の計画は？

【質問】

東広島向原線については、再三、一般質問をしている。この道路は、福富町の地域には必要不可欠で非常に便利であり早期開通が望まれる。今年度の進捗状況と今後の見通し、来年度以降の予定、県に對する市の姿勢を問う。

【答弁】 副市長

東広島向原線は早期に事業効果を出すため、志和町内工区の延長1800メートルについて、2車線から1・5車線にするなど、コスト削減し、暫定工事を約300メートル完成した。今年度は、県道改良に係る移譲交付金7900万円のうち2900万円を充てる計画で、志和町内横山地区の改良済み区間と現道をつ



建設途中の東広島向原線

なぐ約500メートルの区間を暫定的に整備する。現在は、他の工事での残土を搬入し、1600立方メートルの路体盛り土を施工している。平成24年度以降の残事業は、延長1500メートル、事業費約7億6000万円である。県からの受託事業が東広島向原線1路線になることや当該路線は技術的に集中投資が必要なことから、早期整備には受託事業費の増額が必要である。そのため、今まで以上に事業費の増額を広島県に要望する。

23年度米に対する市としての新たな対応は？

【質問】

昨今、米価は下落しており、農業者は厳しい状況にある。また、高齢化も進む中、中山間地域では、耕作放棄地が広がっている。農家、農業を守るには、米価を費用に見合うような価格に引き上げるしかない。農業支援として、平成23年度米に對する市の新たな対応策はできないか。

【答弁】 産業部長

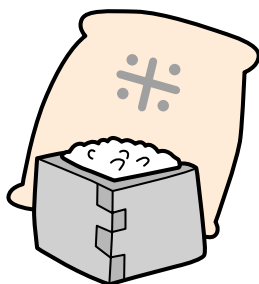
本年産の早期米コシヒカリの買い取り価格は、1等米が昨年度と比較して1500円高い7000円である。通年産米の概算の価格も同様に値上がり傾向にある。

農家への対応策は、農業者戸別所得補償制度により、水稻作付10アール当たり1万5000円が支払われる米の所得補償交付金と米の販売価格が標準的な販売額を下回った場合に、その差額が支払われ

る米価変動補てん交付金が制度化されているが、農業者の経営状況は依然として厳しいことから、国に制度の充実と安定的な継続を求める。

また、米価の引き上げには消費拡大が重要だが、1人当たりの消費量は減少し続けている。本市では、米粉普及推進協議会を設立し、米の新たな利用につながる米粉の販路を拡大しながら、米の消費拡大につなげていく。

本市は、作付面積、生産量ともに県内一の米の生産地である。地産地消の推進とともに東広島市産の米のPRもを行い、米の消費拡大に努め、農業所得の向上につなげたい。



平成23年
第3回定例会

暴力団排除条例制定!!

安全で平穏な生活を確保し、社会経済活動の健全な発展を目指します。

平成23年第3回（9月）定例会では、市長から提案された議案22件、議員提出議案1件の計23件の議案と、議長発議2件が上程されました。

を設置し、閉会中の継続審査とすることになりました。

請願

を不採択としました

定例会初日には20議案が上程され、承認案3件、同意案2件を審議し、それぞれ可決しました。また、継続審議となっていた請願1件を審議し、不採択としました。また、暴力団排除条例の制定などの15議案及び議員提出議案1件は、9月13日から16日までの各常任委員会において審査を行いました。

第3回定例会で可決した案件

● 条例案	5 件
● 予算案	6 件
● 承認案	3 件
● 同意案	2 件
● その他	4 件
● 議員提出議案	1 件
● 議長発議	2 件

● 大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求めるとする請願

▽請願の要旨

医療現場は、長時間・過密労働に加え、医療技術の進歩などで、労働環境は厳しさを増し、離職者も多く深刻な人手不足となっている。看護師等の大幅増員を実現し、安全

で行き届いた医療・看護・介護の拡充を図るため、ILO看護職員条約に基づき、看護師など夜勤交替制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔を12時間以上とすること、医療、社会保障予算を先進国（OECD）並みに増やし、医師・看護師・介護職員等を大幅に増やすこと、国民（患者・利用者）の負担を減らし、安全・安心の医療・介護を実現することについて、国への意見書の提出を求めるもの。

＜賛成討論＞

これは全国的な問題で、既に27自治体で意見書が採択された。国会でも具体的な対応が求められている。広島県でも医師の確保策予算が計上された。独自アンケートでは、本市民の改善を求める声も、切実であり、賛成する。

9月20日には、定例会初日に各常任委員会に付託された案件について各委員長の報告、討論、採決を行い、すべて提案どおり可決しました。その後、決算認定案2件が追加提案され、これらの審査のため、12名の委員で構成する平成22年度決算特別委員会

第3回定例会の日程

- 9月5日（1日目）
開会、会期の決定、議案説明、請願採決【不採択】
承認案採決【承認可決】、同意案採決【同意可決】、議案付託（常任委員会）、議員提出議案付託
- 9月7日（2日目） 一般質問
- 9月8日（3日目） 一般質問
- 9月9日（4日目） 一般質問
- 9月12日（5日目） 一般質問
- 9月13～16日
付託議案の常任委員会
- 9月20日（6日目）
常任委員長報告—議案採決【原案可決】、議員提出議案採決【原案可決】、議案説明、平成22年度決算特別委員会設置・委員の選任・議案付託【閉会中の継続審査】、閉会

【総務委員会付託案件】

・住居表示の実施に伴う関係条例の整理に関する条例の制定		原案可決
・東広島市暴力団排除条例の制定		
〈反対討論〉 ・条例制定に大変関心を持った住民も多く、期待も大きかったが、暴力団の進	出に対して実効力のある条例案とは言えず、先行してつくられた県条例を補完するものにはなっていない。	
〈反対討論〉 ・条例制定に異論はなく、反対ではないが、本条例は、単なる市民啓発を促すだけではなく、市民が暴力団の排除に積極的に協力するとされた実行的な措置を求めているにもかかわらず、その具体的な内容、基準が示されていない。	細則基準を整備した上で、12月の議会で制定し、少なくとも3か月間の周知徹底、市民啓発期間を置きながら、市民と一体的に事業を進める姿勢が求められていると考えているため反対する。	
・東広島市税条例等の一部改正		
〈反対討論〉 ・個人市民税の罰則額を3万円から10万円に引き上げるより、相談の受け付け等の納税者の環境を整えることが何よりも大事だと考える。また、株主優遇	の再延長案が盛り込まれているが、世界では大資産家への増税の動きが広がっている。予算の確保が課題となっている中、本案は市の独自策が見当たらないため、反対する。	

【文教厚生委員会付託案件】

・災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正	原案可決
・東広島市スポーツ振興審議会設置条例の一部改正	

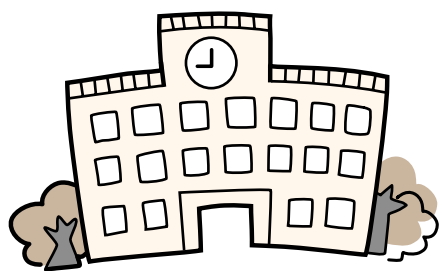
【建設委員会付託案件】

・財産の取得	原案可決
・市道の路線の廃止（大河内大沢線ほか2路線）	
・市道の路線の認定（田口東48号線ほか8路線）	
・請負契約の締結（龍王山総合公園整備工事）	

※ 委員会での審査内容は、P22からの「委員会審査の概要」をご覧ください。

【委員会への付託を省略した案件】

・専決処分の承認（損害賠償の額を定めること（道路の管理上の瑕疵によるもの））	承認可決	
・専決処分の承認（東広島市税条例の一部改正について（地方税法等の一部改正に伴うもの））		
・専決処分の承認（東広島市都市計画税条例の一部改正について（地方税法等の一部改正に伴うもの））		
・固定資産評価審査委員会委員の選任の同意 志和町志和東1743番地	さとかわ たけゆき 里川 武幸	同意可決
・固定資産評価審査委員会委員の選任の同意 西条中央八丁目4番23号	たかもりふ み お 高盛富美男	



議員提出議案 を可決しました

- 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書
- 1 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。
- 2 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担金制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に還元すること。

議長発議 を可決しました

● 議員派遣

◎ 議会会報委員会行政視察

- ・ 日時 10月中の2日間
- ・ 場所 福岡県みやま市 佐賀県嬉野市
- ・ 内容 議会広報についての調査研究
- ・ 対象者 議会会報委員会委員

◎ 広島県市議会議長会西部ブロック議員研修会

- ・ 日時 11月中の1日間
- ・ 場所 広島市
- ・ 内容 防災に関する研修
- ・ 対象者 全議員

● 平成23年度一般会計補正予算（第2号）を可決しました（総務委員会付託）

補正額 15億2,960万1千円増 補正後の総額 726億4,403万5千円

（主な補正内容）

- ・ 総務費（県・市議会議員選挙等に係る事業費等） 9,226万3千円減
- ・ 民生費（私立保育所施設整備補助金等） 6,071万5千円増
- ・ 土木費（寺家地区土地区画整理事業関連公共事業等） 9,889万8千円増
- ・ 公債費（民間資金の繰上償還等） 14億円増

〈反対討論〉

私が民営化に反対している御園宇保育所のさらなる用地測量設計が盛り込まれている。本市の待機児童は、新しい保育所が開所されても、4月1日時点で7名、9月1

日時点で3歳未満児だけでも96名、全体で117名に増加している。老朽化した園舎を建て替えても、待機児童の解消にはならない。不足している保育所確保の問題解決が先決と考える。

委員会での主な意見・質疑応答

Q バス停の上屋整備事業でJRが見積り、発注、施工する事業に全額補助しているが、精査はどうなっているのか。ま

た、補助基準や公平性、透明性はどうかしているのか。

A JRから見積りにより予算措置をしている。今後、補助基準を整備していきたい。

●平成23年度特別会計補正予算を可決しました

会計名（補正回数）		補正額	補正後の総額	付託委員会
公共下水道事業（1）		8億8,802万9千円減	58億4,263万円	建設
寺家地区土地区画整理事業（1）		9,550万円減	4億8,775万1千円	
国民健康保険 （1）	事業勘定	1億5,126万9千円増	148億2,283万7千円	文教厚生
	直営診療施設勘定	399万円増	3,416万円	
介護保険（1）		9,011万9千円増	107億9万8千円	総務
竹仁財産区（1）		180万円増	688万6千円	

委員会での主な意見・質疑応答

〈公共下水道事業〉

Q 西条1号雨水幹線は、何度も工事が中断しているが、今後工事を進めるにあたり、今回の調査ボーリングは十分信頼できるものなのか。

A 幹線工事における事前の調査ボーリングは、国の基準で、概ね200m間隔とされている。昨年工事が中断した後、更に50m間隔で調査し工事を進めていたにもかかわらず、調査地点の間に約30mの硬い岩盤層があったため、再度工事を中断することとなった。今回追加した調査ボーリングでは、更に5m間隔で調査し、詳細な地質図を作成しており、信頼性は高いと考えている。

Q 50m間隔で調査ボーリングを行った時に、既に硬い岩盤が出ている地点があるが、予測できなかったのか。

A 硬い岩盤層は確認されたが、次の測点で

は下がっていたので、その間で硬い岩盤層がせりあがっているとは判断できなかった。

Q 硬い岩盤を掘削する工法の検討の過程を知りたい。また、経済性の検討はしたのか。

A 工法決定にあたっては、周辺の住民の方々にご迷惑をかけないことを第一に考え、様々な方法を検討した。経済性も検討した上で今回の工法を選択した。



地中を掘り進む掘削機械

【委員会での審査概要】

総務委員会審査

**暴力団排除
条例を制定**

●住居表示の実施に伴う関係
条例の整理に関する条例の
制定

住居表示の実施に伴い、関係する3件の条例を整理し、水道事業の給水区域等の表示をそれぞれ改正するもの。

【全会一致で可決】

●暴力団排除条例の制定

暴力団の排除を推進することにより、市民の安全で平穏な生活を確保し、及び社会経済活動の健全な発展に寄与することを目的として、市及び市民等の役割を明らかにし、市が行う施策について必要な事項を定めるもの。

主な意見・質疑応答

Q この条例は、実行性の面も持っているがその運用の基準がないにも係わらず、10月1日に施行できるのか。

A 条文には当たり前のこと

が書かれており、それを市民に徹底していこうというものである。啓発等は徐々にはあるが行っている。Q いろいろな問題が出たときに、対応できる基準等を作る事ができるのか。

討 論

＜反対討論＞

・精神的な条項や啓発の意味合いを持ち、同時に市民生活や商行為等の具体的な局面で暴力団を排除しようとする実際的な側面を持つていながら、その運営基準や市民に対する適用、努力義務等の細則が定められていない。

＜賛成討論＞

・酒まつりを控え、東広島市が条例を制定したまちであるということとトラブル回避につながるのであれば、制定は望ましいと判断する。

・市民にもっと関心を持ってもらい、啓発という面を含めて今回制定するべきである。

【賛成多数で可決】

●市税条例等の一部改正

地方税法等の一部改正に伴い、過料の額の上限の引上げ等に係る罰則の見直し、寄附金税額控除の適用下限額の引下げその他所要の規定の整備を行うおとするもの。

主な意見・質疑応答

Q 過料の引き上げが、どの程度本市に影響するのか。

A これまで過料を科したことは少ないが、過料には抑止効果があると考ええる。

【全会一致で可決】

文教厚生委員会審査

●災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、兄弟姉妹に対する災害弔慰金の支給の順位を定め、所要の規定の整備を行うもので、平成23年3月11日以後に生じた災害により死亡した市民に係る災害弔慰金の支給について適用するもの。

主な意見・質疑応答

Q この条例改正は、東日本大震災等によって遡及適用する形になっているが、この改正によって新たに支給対象者となる人は現在本市に

いるのか。

A 福祉部において把握している範囲では、現在のところいない。

【全会一致で可決】

●スポーツ振興審議会設置条例の一部改正

スポーツ振興法の全部改正に伴い、「スポーツ振興審議会」の名称を「スポーツ推進審議会」に変更するとともに、所要の規定の整備を行うおとするもの。

【全会一致で可決】

建設委員会審査

●財産の取得

都市計画道路の用に供する土地を買い入れるもの。

・取得する財産
西条町寺家字板橋
23番1ほか4筆

・面積
1万2740・13㎡

・取得価格
6274万647円

・相手方 一般財団法人寺家会

【全会一致で可決】

●市道の路線の廃止・認定

・廃止路線
大河内大沢線ほか2路線

・認定路線
田口東48号線ほか8路線

【全会一致で可決】

●請負契約の締結

平成23年度公園整備事業龍王山総合公園整備工事の請負契約を締結するもの。

・工事の内容
土木一式工事

・契約金額
2億1671万550円

・契約の相手方
大之木建設株式会社

・工期 議会の議決のあった日の翌日から平成24年3月30日まで

【全会一致で可決】

行政視察報告

総務委員会

●日時／7月26日～7月28日

●視察地／

豊橋市・多治見市・神戸市

豊橋市では市民協働によるまちづくり、多治見市では行政改革の取り組み、神戸市ではPFIの取り組みについて視察を行った。豊橋市は市民協働推進条例を制定し、様々な施策を展開しながら市民協働によるまちづくりを推進している。多治見市は行政改革大綱を定め、事務事業の縮減や職員数の削減等に取り組んでおり、本市の今後の施策の参考とし活かしていきたい。



総務委員会 行政視察（神戸市）
※ PFI とは：民間資金の活用方法の1つ

文教厚生委員会

●日時／7月25日～7月27日

●視察地／

品川区・大阪市・姫路市

品川区では施設一体型小中一貫教育について、大阪市では学校施設の壁面緑化及び校庭の芝生化について、姫路市では連携型の小中一貫教育について、それぞれ視察を行った。品川区及び姫路市の小中一貫教育は、本市で今後検討する小中一貫教育のあり方について参考にすべき点などを見出すことができ、また、大阪市では、いかに保護者や地域との連携を図って芝生の維持管理を行うかが重要であることを学ぶことができた。



文教厚生委員会 行政視察（大阪市）

市民経済委員会

●日時／8月1日～8月3日

●視察地／

水俣市・北九州市・臼杵市

水俣市ではごみ分別収集・リサイクル推進施策、北九州市ではごみ減量化、臼杵市では企業の農業参入・有機農業推進について視察を行った。水俣市は家庭ごみの高度分別収集を、北九州市はごみの減量化を、市民の力で実現しており、参考になった。臼杵市の有機農業を中心とした循環型農業構築による、安全な農産物生産や企業の農業参入促進事業は、学ぶところが多かった。



市民経済委員会 行政視察（臼杵市）

建設委員会

●日時／8月8日～7月10日

●視察地／

札幌市・千歳市・横浜市

札幌市ではモエレ沼公園について、千歳市では青葉公園について、横浜市ではナショナル・アート・パーク構想について視察を行なった。札幌市のモエレ沼公園は、イサム・ノグチが設計し作品として認定されており、市民の憩いの場でありながら、芸術的な刺激を得られるものとなっている。千歳市の青葉公園は、スポーツ、横浜市は、現代アールに焦点を当てている。テーマを設定した公園の有効性を感じる事ができた。



建設委員会 行政視察（札幌市）モエレ沼公園

議会の動き

平成23年7月30日～平成23年10月28日

- 8・1 市民経済委員会行政視察（～3日）
- 8・3 岐阜県関市議会来市
- 8・5 埼玉県鴻巣市議会来市
- 8・8 建設委員会行政視察（～10日）
- 8・11 議会改革・活性化特別委員会
- 8・17 議会運営委員会、全員協議会
- 8・24 広島県三原市議会来市
- 8・26 総務委員会協議会、総務委員会
- 8・29 市民経済委員会協議会、市民経済委員会
- 8・30 文教厚生委員会協議会、文教厚生委員会
- 8・31 建設委員会協議会、建設委員会
- 9・1 会派会長会議、議会運営委員会
- 9・5 平成23年第3回定例会（1日目・議案説明）
〃 全員協議会、議会改革・活性化特別委員会
- 9・7 平成23年第3回定例会（2日目・一般質問）
- 9・8 平成23年第3回定例会（3日目・一般質問）
- 9・9 平成23年第3回定例会（4日目・一般質問）
- 9・12 平成23年第3回定例会（5日目・一般質問）
〃 会派会長会議
- 9・13 文教厚生委員会
- 9・14 市民経済委員会
- 9・15 建設委員会
- 9・16 総務委員会
- 9・20 議会運営委員会
〃 平成23年第3回定例会（6日目・議案審議）
〃 文教厚生委員会、決算特別委員会
〃 議会展報委員会
- 9・21 議会改革・活性化特別委員会、議員研修、会派会長会議
- 9・26 決算特別委員会（財務部・総務部）
- 9・27 決算特別委員会（企画振興部・生活環境部）
- 9・28 決算特別委員会（福祉部）
- 9・29 決算特別委員会（産業部）
- 9・30 決算特別委員会（建設部・都市部・下水道部）
- 10・3 決算特別委員会（教育委員会）
- 10・4 決算特別委員会（消防局）（水道局 質疑、採決）
- 10・5 決算特別委員会（総括質疑、採決）
- 10・6 総務委員会、埼玉県北本市議会来市
- 10・7 議会改革・活性化特別委員会
- 10・17 建設委員会、全員協議会、会派会長会議、総務委員会
- 10・19 静岡県富士市議会来市
- 10・21 総務委員会、長野県佐久市議会来市
- 10・24 議会展報委員会行政視察（～25日）
〃 栃木県鹿沼市議会来市
- 10・26 愛知県東海市議会来市、愛知県刈谷市議会来市
- 10・28 議会展報委員会、会派会長会議、愛知県清須市議会来市

市民の声

介護認定について

西条町 井町千代美
いまちちよみ

94歳の母がいます。介護認定申請を半年前にしなければなりません。そのたびに要介護を要支援にされます。変更申請をこの一年で繰り返したので、申請ばかりしている感じです。医師の診断と市職員面接がセットであり、仕事をしているところこれが負担です。手続きはケアマネージャー

さん達が援助してくれますが、申し訳ない思いもします。介護度を下げられるのは納得できません。90歳位になって、自立度が改善すると誰が言えるでしょう。施設での機能訓練やお楽しみで低下を抑えているのが現状です。認定期間を長くして欲しいし、介護度を簡単に下げるのは止めて欲しいです。申請回数が多いのは、行政にとっても、人件費など無駄ではないでしょうか。

「土のうを積んで」

安芸津町風早 岡本 文雄
おかもと ふみお

9月、「自主防災風早」の土のう作り活動に参加しました。例年以上に参加者が多いのは東北大震災の衝撃か。女性の姿をまじえ手作業で1800袋の土のうの山を備蓄できた。自分達の安全や環境を守るのは自分達自身でしかないと、手作りで立ち上げた災害に備える自主組織の活動である。水防用の土のうの備蓄

をめざし、委員や区民が毎年800～1000袋の土のうを作り続け、過去6年の累計5000袋は年々の水害対策に寄与してきたのだ。昨年の豪雨災害に加え、近年は大潮でさえ家屋の浸水被害が続出するしまつ。静かな風早に平時からの防災対策が欠かせなくなった。今後の重い課題は、災害時のもやいの心を繋いだ支援活動の構築で、区民の自主防災への期待は切実なものになりつつある。

西条1号雨水幹線工事中！

現在、旧国道375号などの道路の地下に、雨水を黒瀬川に放流するための巨大な管をつくる雨水幹線の建設が進んでいます。西条の中心地は、大雨が降ると水路があふれ、道路が冠水する箇所があります。この事業は、地下の巨大な「雨水管きょ」により、地上の水はけを良くしようという事業です。



平和・非核兵器都市宣言
人権尊重都市宣言
東広島市

議会 豆知識

◆市民意見交換会◆ しみんいけんこうかんかい

市民意見交換会とは、議員個人・会派ではなく、議会・委員会主催による市民との対話の場の1つです。その他に、議会報告会、特定の団体等との意見交換・懇談会や特定テーマについての意見交換の場など、様々な方法があります。なお、自治体議会改革フォーラムの調査によると、平成22年中に約24.6%の市議会が実施しており、ここ数年で全国で急速に広まっています。

本市議会でも、議会改革・活性化特別委員会において、市民意見交換会の実施について検討しています。

市議会からのご案内

●本会議・委員会を傍聴してみませんか

【本会議】席数：42席 車椅子用2席
第4回定例会予定：12月5日（10時から）

【委員会】席数：5席 車椅子可

委員会の日程は、ホームページの議会日程をご覧ください。

傍聴ご希望の方は、当日、議会事務局で受付をしてください。

※ 傍聴にあたり、手話通訳をご希望の方は、傍聴希望日の3日前までにお申し込みください。

●本会議の「会議録」を閲覧できます

閲覧できる場所は、議会事務局・各支所の地域振興課・市立中央図書館や広島県立図書館、ホームページでも閲覧できます。

東広島市ホームページアドレス

<http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/>

●ホームページで「録画中継」公開中

ホームページで本会議の録画中継をご覧いただけます。また、黒瀬支所、高屋出張所で、ビデオをご覧いただけます。

●市議会だより、ホームページに関するご意見・ご感想をお寄せください。

〈連絡先〉 東広島市議会事務局

〒739-8601 東広島市西条栄町8番29号

電話082-420-0966 FAX 082-424-9465

編 集 後 記

「市民の姿、行政の姿は見えても、議会の姿が見えないのは残念」東日本大震災をテーマにした研修の講師の言葉は痛烈でした。わが町のハザードマップを広げ、未曾有の大災害に対し、何の方策も覚悟も無いことに気づかされました。自然災害はいつ起こるかわかりません。「議会の姿が見えないのは残念」と言われぬよう、私たちは普段から非常時に取るべき行動への備えをしておかねばと思います。

麻生 豊